

施工要領書

クボタ浄化槽 RS-P型

- このたびは、クボタ浄化槽RS-P型をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
- この「施工要領書」をよくお読みになり、正しい施工を行ってください。
- 工事前には、必ず関係官公庁に所定の申請書を提出して、許可を得てください。
- プロワの段ボール箱に同封してある保証書に、型式、据付年月日、使用開始年月日、販売店名、工事店名などを記入し、維持管理要領書、使用説明書とあわせてお客様へ必ずお渡しください。
- 電気工事は、必ず電気工事士の資格をもつ専門業者に依頼してください。
- 工事を行う前には、部品が揃っていることを確認してから工事を進めてください。

目次

1. 取扱に関する注意	1
2. 浄化槽の部品、重量、寸法一覧表	3
3. 設置工事	4
4. 試運転	8
5. 特殊工事	10
6. アフターサービスについて	14
<参考>工事のチェックリスト	16





注意

施工要領書本文に出てくる警告、注意表示の部分は、浄化槽の施工前に必ずお読みになり、よく理解してください。

株式会社クボタ






1. 取扱に関する注意

この施工要領書で使われている表示マークには、次のような意味があります。表示と内容を必ずお読みになり、よく確認してください。

 警告 この表示の警告内容を見逃して取り扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	 注意 この表示の警告内容を見逃して取り扱いを誤った場合に使用者が障害を負う危険および物的損害の発生が想定されます。
--	--

※ 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

1-1. 取扱に関する注意

 注意 1) マンホール・点検口などからの転落・障害事故防止
<ul style="list-style-type: none">●マンホールは、積載荷重に応じて適正なものを使用してください。●工事中は、必要などき以外はマンホール・点検口などのフタを必ず閉めてください。●マンホール・点検口などのフタのひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに切り替えてください。 <p>これらの注意を怠ると、転落・障害の生じるおそれがあります。</p>
 注意 2) 障害事故防止
<ul style="list-style-type: none">●槽の吊り下げ・据え付け作業には、玉掛けを確実に実施し、槽の下には立ち入らないように、安全を十分に確認して作業を行ってください。●適正な吊り上げ角度（60°以下）で必ず4点吊りしてください。●槽の据え付け時には、落下や衝撃を与えないように静かに行ってください。 <p>これらの注意を怠ると、転落・障害の生じるおそれがあります。</p>
 注意 3) 転落事故防止
<ul style="list-style-type: none">●埋設工事に際して、穴を掘った周囲には、防護柵を作り、関係者以外立ち入らないようにしてください。●据え付け後の水張り、浮上防止金具の取り付けなどの作業時に槽本体に直接乗ると、滑りやすく落下する危険があります。足場などを使用し、注意して作業してください。 <p>これらの注意を怠ると、転落・障害の生じるおそれがあります。</p>
 注意 4) 感電・発火事故防止
<ul style="list-style-type: none">●電気配線工事は、電気工事士の資格をもつ電気工事業者に依頼してください。●電源の一次側には、漏電遮断器（ELB）を付けてください。●制御ボックスのカバーは、必ず取り付けてください。●アースの必要なプロワを設置する場合には、電気事業法による「電気設備に関する技術基準を定める省令」に基づくD種(第三種)接地工事を行ってください。 (RS-P型で標準で使用されるLA型プロワはアース不要です) <p>これらの注意を怠ると、感電・発火の生じるおそれがあります。</p>
 注意 5) 消毒剤による器物破損事故防止
<ul style="list-style-type: none">●消毒剤を開封する前に、浄化槽へ流入する排水元の設備・機器（トイレ・浴室・洗面台・台所など）のトラップが切れていないことを確認してください。 <p>これらの注意を怠ると、トラップが切れている場合に、消毒剤の塩素ガスによって設備・機器が腐食し、機器破損・障害の生じるおそれがあります。</p>

1-2. 一般的留意事項

浄化槽工事は、工事現場で浄化槽設備士が実地に監督してください。

1. 浄化槽の設置届けを確認してください。
2. 工事施工要領書・工事仕様書、浄化槽工事の技術上の基準などの諸法令を、確実に守って工事してください。
工事が不完全な場合は、槽の破損による汚水漏れ・放流水質の悪化などの原因になります。
3. 電気工事は、必ず電気工事士の資格をもつ専門業者に依頼してください。
4. プロワを設置する場所は、通気・防湿・騒音に配慮してください。
振動防止のために、基礎はコンクリート製とし、プロワ自体の重量や振動に耐えるものとしてください。
据え付けのコンクリートの基礎は、建築物と直接つなげることなく20cm以上離し、地盤面(GL)より10cm以上高くし、プロワの外寸より5cm大きくしてください。
5. 工事は浄化槽工事の技術上の基準を守り、特に基礎工事、埋戻し工事、上部スラブ打設などは、施工要領書に基づき正しく行ってください。
また、駐車場・車庫にする場合、交通量の多い道路のわきに設置する場合、近くの建築物の荷重が槽本体に影響する場合、軟弱地盤に施工する場合、多雪地域に設置する場合などは特殊工事になりますので、槽本体に影響を及ぼさないよう補強工事を行ってください。
6. 浄化槽を破損しないように、埋め戻しには、次のような事項に注意し作業してください。
 - 1) 水張りのあとに、埋め戻し作業を行ってください。
 - 2) 埋め戻しの土は、石ころなどが混入しない良質土（山砂など）を用いてください。
 - 3) 埋め戻し時に重機のバケットなどを槽本体に当てたり、高い所から埋め戻しの土を落としたりしないでください。
7. 設置工事完了後は、別添の浄化槽工事チェックリストで工事の適正を確認してください。
8. 使用者に、浄化槽の保守点検業者と維持管理契約をするよう指導してください。
9. プロワ（LA-15×2型）の段ボール箱に同封してある取扱説明書、維持管理要領書を使用者に手渡してください。
10. 浄化槽の設置工事に関して不詳な点は、弊社営業窓口にお問い合わせください。

2. 送付品と、重量、仕様及び寸法について

2-1. 送付品一覧表

部 品 名		型 式	RS-5P	RS-7P	RS-10P
		荷 姿			
1, 浄化槽本体		裸	1式	1式	1式
2, マンホール	φ500	本体に固定	3個	2個	4個
	φ600			1個	
6, プロウ	LA-100T	段ボール箱	1式		
	LA-120T			1式	
	LA-120				1式
	LA-60A				1式
	LA-15×2		1式	1式	1式
4, (LA-B)					1台
7, 添付書類			1式	1式	1式

※薬剤筒の袋の中に入れてある施工要領書は不要ですので破棄してください。

※添付書類はLA-15 2の箱の中に入れてあります。保証書・取扱説明書・維持管理要領書があることを確認してください。また、LA-15 2以外のプロウの箱の中にある保証書は不要ですので破棄してください。

※詳細な維持管理要領書が必要な時はメーカーまで連絡ください。

2-2. 仕様、寸法一覧表

1) 本体の仕様と寸法

型 式	RS-5P	RS-7P	RS-10P
処理対象人員 (人)	5	7	10
長さ (mm)	2,450	2,640	3,255
幅 (mm)	1,230	1,650	1,870
高さ (mm)	1,770	1,770	1,770
φ500マンホール(個)	3	2	4
φ600マンホール(個)		1	
総容量 (m ³) ※	2.862	4.268	6.323
製品重量 (kg)	240	360	470

2) プロウの仕様

※総容量は槽内水位がH.W.L.での値です。

型 式	LA-100T	LA-120T	LA-120	LA-60A	LA-15X2
定格電圧 V	100				
定格周波数 Hz	50/60				
定格圧力 MPa	0.018			0.015	0.010
吐出空気量 L/分 (自動逆洗時)	65 (100)	80 (120)	120	60	15×2
消費電力 W (自動逆洗時)	70/65 (100/95)	88/80 (130/118)	130/118	64/60	32/28
外形寸法(突起部含まず) L×W×H mm	368×210 ×232	368×210 ×232	368×210 ×232	272×190 ×208	312×190 ×203

3. 設置工事

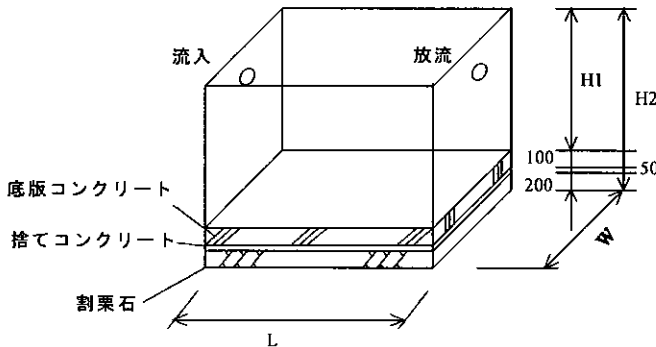
3-1. 設置場所等の確認

工事を行う前に次の条件を確認してください。

- ◆設置届け提出済みの確認
- ◆設置場所の広さ……………設置図面どおりの広さがあるか。
- ◆配管路の状況……………浄化槽の配管経路に障害物はないか。また、放流先の水位。
- ◆搬入、搬出路の状況……………浄化槽の持ち込みができるか。
- ◆設置場所周囲の状況……………資材置場、工事車両、残土の一時置場があるか。
また、施工後に維持管理、清掃に支障がでないか。
- ◆土質の良否および湧水の有無……………土質の状況はどうか。湧水はあるか。矢板など必要か。
- ◆工事電力、工事用水の有無……………現場で電気、工事用水が調達できるか。
- ◆放流の方法……………自然放流かポンプアップ放流か。
- ◆浄化槽および付属品は整っているか。

3-2. 掘削工事、及び基礎工事

掘削を行う場合は、周囲の建物、土質、埋設物の調査等を行い、条件に応じた適切な対応をとってから工事を行ってください。基礎の標準工事における地耐力は、5t/m²以上です。5t/m²未満の場合は、補強工事をしてください。基礎工事は、下表の寸法を参考にしてください。



型式	W	L	H1	H2
RS-5P	1,430	2,650	1,770	2,070
RS-7P	1,850	2,840	1,770	2,070
RS-10P	2,070	3,455	1,770	2,070

(単位:mm)

※掘削土量は素堀か、土留工事かで異なります。
法規に則って安全な工事を行ってください。

※上記は無荷重の場合の寸法です。駐車場仕様など荷重がかかる場合は必要なスラブ厚を計算して寸法を決めてください。

3-3. 据付工事

- ◆槽は必ず水平に据え付けてください。
浄化槽が傾いていると、槽内の水の流れやばっ気などに偏りが生じ、処理機能が低下して放流水質が悪化する原因になります。特に前後方向の水平は正確に出してください。
- ◆水準棒（角材等）を槽のマンホール枠にのせ、水準器を数力所あてて、槽の水平を出してください。
- ◆槽をつりあげるときは、必ず4点吊りにしてください。この時ワイヤーロープの角度は60°以下にしてください。
- ◆湧水があるときは、浮上防止工事を行ってください。

3-4. 埋め戻し工事

- ◆埋め戻しの前には、必ず浄化槽本体の規定水位(H.W.L.)まで水張りを行って、水平および水漏れの有無を確認してください。
- ◆槽内に土砂が入らないように、マンホールにフタをしてから埋め戻してください。
- ◆埋め戻しの土は、石ころなどが混入しない良質土(山砂など)を用いてください。
- ◆水締めを行いながら埋め戻し、突き棒などで必ず突き固めてください。
- ◆建設機械などの重機の荷重が直接かからないように注意してください。

3-5. 配管工事

- ◆生活排水以外の特殊な排水や雨水は、絶対に浄化槽に流入させないでください。
- ◆起点、屈曲点、合流点には適正なマスを設置してください。
流入経路は全てインバートマスとしてください。
- ◆流入管、放流管の勾配は1/100以上とし、逆勾配にならないように注意してください。
- ◆臭突管には汚水の配管を絶対に接続しないでください。

3-6. 空気配管工事

◆この浄化槽に使用されるブロワと浄化槽の型式との組み合わせは以下の通りです。まずお手元にあるブロワと浄化槽の型式との組み合わせが正しいかどうか確認して下さい。

ブロワ \ 型式	RS-5P	RS-7P	RS-10P
①タイマー内蔵ブロワ	LA-100T	LA-120T	—
②ばっ気用ブロワ	—	—	LA-120
③逆洗用ブロワ		—	LA-60A
④エアリフト用ブロワ	LA-15×2		

- ◆RS-P型にはばっ気用ブロワ、逆洗用ブロワ、エアリフト用ブロワが必要です。5・7人槽ではばっ気用と逆洗用をタイマー内蔵ブロワ1台で受け持っています。また、10人槽では逆洗用ブロワをタイマー制御するために別に制御ボックスが必要になります。

■RS-P型用タイマー内蔵ブロワ(5・7人槽)

LA-100TおよびLA-120Tは、送風量可変式のブロワで、内蔵しているタイマーで自動的に送風量を調節することにより、ばっ気用ブロワと逆洗用ブロワを1台にまとめています。

■RS-P型用ばっ気用ブロワ(10人槽)

LA-120は、ばっ気用ブロワで常時運転しております。

■RS-P型用逆洗用ブロワ(10人槽)

LA-60Aは、逆洗用ブロワで制御ボックスに設置されたタイマーにより自動制御します。

通常は運転しませんのでご注意ください。

■RS-P型用エアリフト用ブロワ

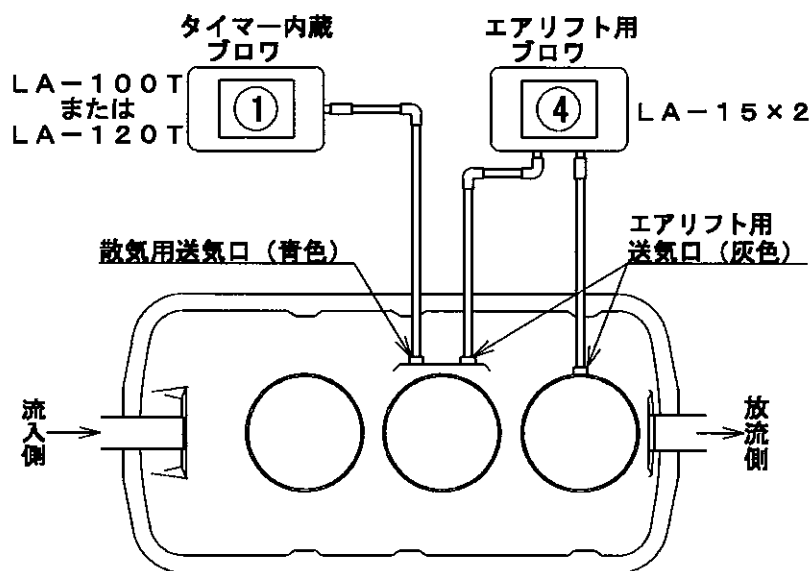
LA-15×2は循環水用と処理水用のエアリフトポンプへの送気を1台で受け持っており、吹き出し口が2個あります。

- ◆空気配管長さは、5m以内とし、曲がりは5カ所以内としてください。5mを越えて10m以内の場合は、配管径を径違いソケットでVP16またはVP20に上げて風量の損失を防いでください。
- ◆浄化槽本体には空気配管の送気口が3ヶ所あります。以下のように対応するブロワを正しく配管して下さい。

1) 5・7人槽

青色の送気口(1ヶ所)：①タイマ-内蔵ブロワの吐出口に接続

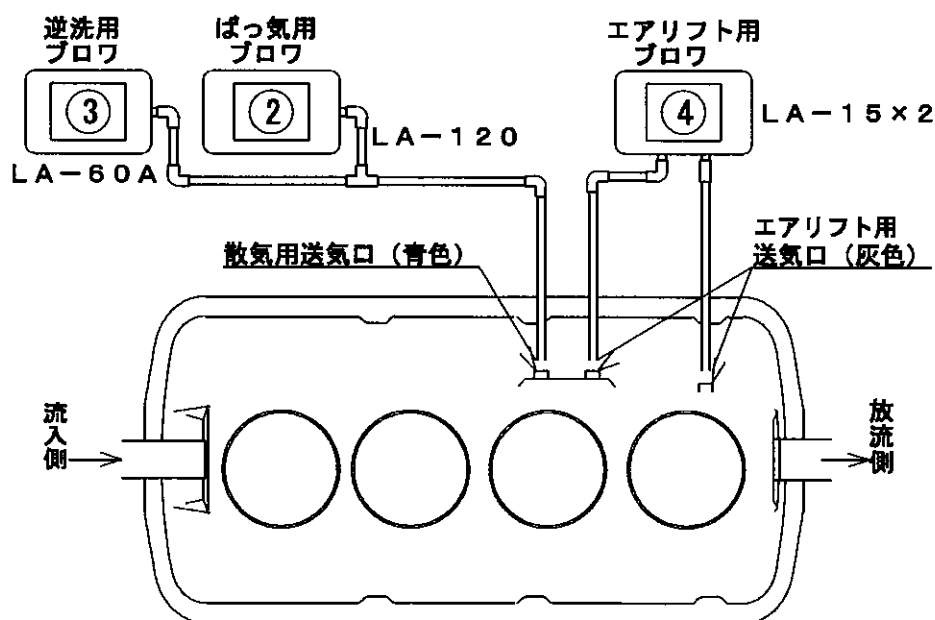
灰色の送気口(2ヶ所)：それぞれ ④エアリフト用ブロワ の2個の吐出口に接続



2) 10人槽

青色の送気口(1ヶ所)：チェ-スで分岐させて ②散気用ブロワ と ③逆洗用ブロワ の吐出口に接続

灰色の送気口(2ヶ所)：それぞれ ④エアリフト用ブロワ の2個の吐出口に接続



3) プロワ用制御ボックスの設置（10人槽のみ）

◆制御ボックスの取付位置

屋外の壁に取り付けて下さい。

直射日光の当たらない風通しのよい場所に取り付けて下さい。

保守点検のしやすい場所に取り付けて下さい。

プロワの電源コードの届く位置に取り付けて下さい。

◆制御ボックスの取付方法

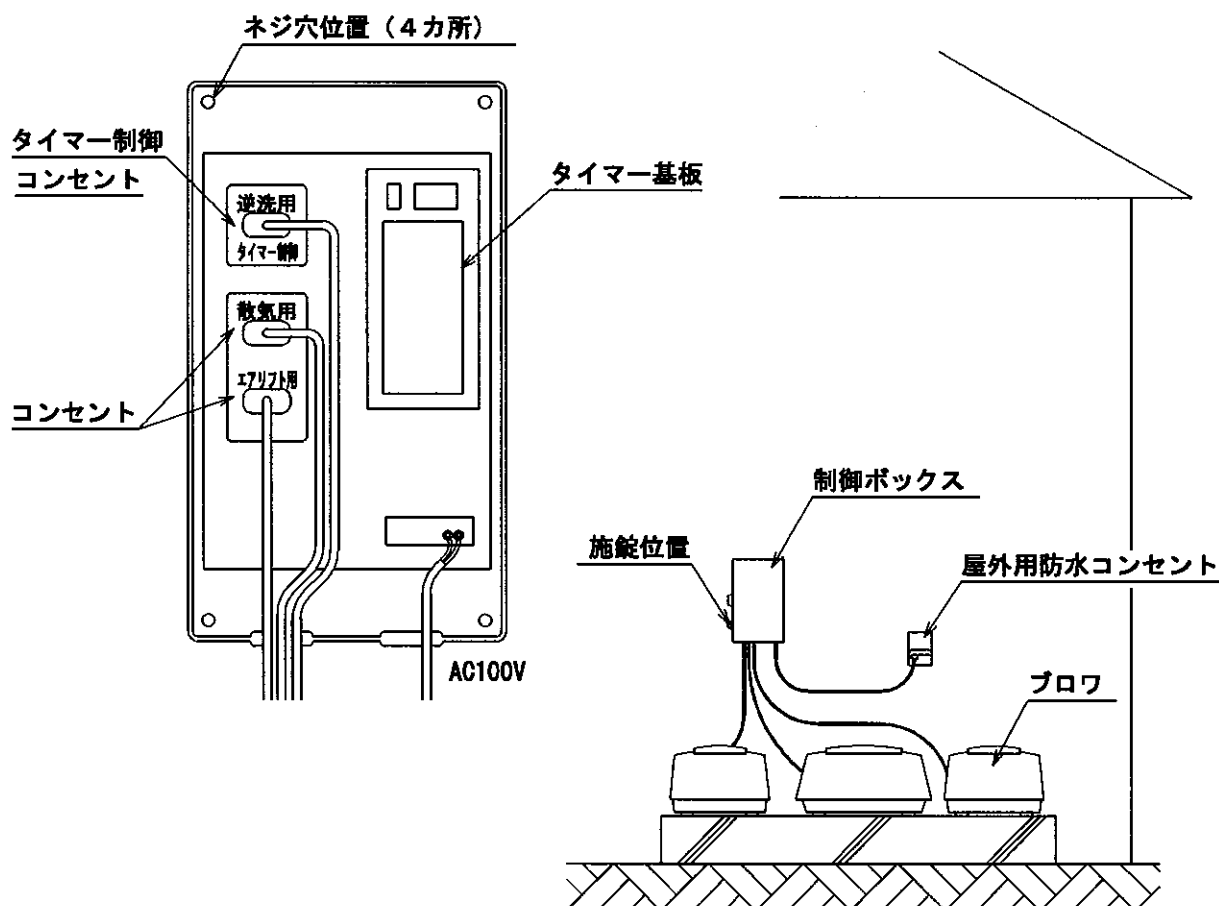
制御ボックスを壁面に押し当てて、壁面にネジ穴位置（4ヶ所）をケガキます。

ケガキ位置に刃径7mmのドリルで穴を掘り、カールプラグをしっかりと埋め込みます。

木ネジをカールプラグに締めこみ、制御ボックスを壁面にしっかり取り付けます。

◆電源コードの接続

制御ボックスの中には、コンセントが3個あります。下図を参考にして、それぞれのプロワの電源コードを正しく接続して下さい。とくにタイマー制御コンセントには間違いなく、③逆洗用プロワを接続して下さい。制御ボックスの電源コードを屋外の防水型コンセントにしっかり接続して下さい。接続の終了後、制御ボックスのフタを閉めてボルトで施錠して下さい。



注意 電気配線工事は、電気工事士の資格をもつ電気工事業者に依頼してください。


●プロワ（LA型）は、アース工事は不要です。

●電源の一次側には、漏電遮断器（ELB）を付けてください。


3-7. ブロワの設置工事

- ◆浄化槽の近くに設置してください。
 - ・設置場所が遠い時は、規定の空気量が確保できず、処理に悪影響がでる場合があります。
- ◆ブロワは、保守点検が容易に行える場所に設置してください。
- ◆ブロワは日陰で風通しの良い、雨水のかからないところに設置してください。
 - ・建物より30cm以上離して設置してください。(建物の基礎とつなげないでください。)
 - ・直射日光が当たらないようにしてください。
 - ・ブロワにカバーをかぶせたり、枯れ葉などが吹きだまる場所に設置しないでください。
- ◆ブロワは換気扇の近くなど、油分を吸い込む可能性のあるところから離して設置してください。
- ◆据え付け台をコンクリートで造ってください。据え付け台は地盤(GL)より10cm以上高くし、ブロワの外寸より5cm大きくしてください。
- ◆空気配管の上を車が通る場合は、厚み15cm以上の鉄筋コンクリートで保護してください。
- ◆やむをえずブロワを電源コンセントから離して設置する場合は、途中にプルボックスを設け、ケーブルを延長してください。ケーブルは電線管を通してください。

3-8. コンクリートスラブの打設工事

-  **注意** ◆埋め戻し工事が完了したら、マンホールの周囲にコンクリートを打設してください。
◆上部スラブは地面より30mm程度(マンホール枠の厚み)高くし、マンホールから雨水などが浄化槽内へ入らないように仕上げてください。

3-10. 消毒剤の開封

-  **注意** 消毒剤を開封する前に、浄化槽へ流入する排水元の設備(トイレ・浴室・台所など)のトラップが切れていないことを確認してください。

これらの注意を怠ると、トラップが切れている場合に、消毒剤の塩素ガスによって設備・機器が腐食し、器物破壊の障害を生じるおそれがあります。

- 消毒剤の開封は、原則として使用開始直前に維持管理担当者が行ってください。
- 薬剤筒の中のポリ袋に消毒剤が入っていますので、ポリ袋を開封して消毒剤を取り出し、薬剤筒に入れ直してください。

4. 試運転

施工完了後、別添の工事のチェックリストを参考に工事の適正を確認してください。
試運転前に水位をおおむねMWL~HWLまで清水で水張りしてください。

4-1. 基本事項の確認

- ◆流入系の升からバケツ等で水を流し、配管勾配・各槽水位・管底高さ・移流状況が正常なことを確認してください。
- ◆ブロワの電源を入れ、異常な騒音・振動がなく、正常に運転しているかどうか確認してください。
※1Q入槽の逆洗用ブロワ(LA-60A)はタイマー制御のため通常は運転しません。

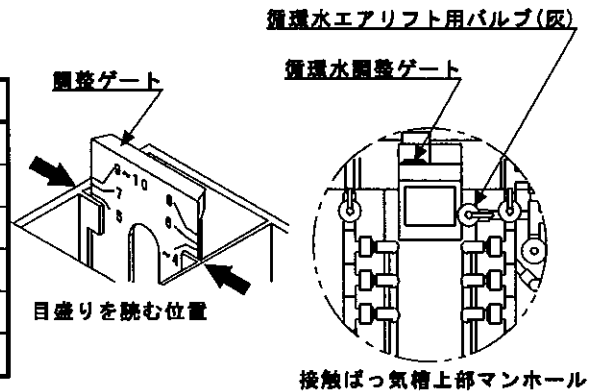
- ◆ブロワが本体の対応する送気口に正しく接続されているかどうか確認してください。
 - ・エアリフト用ブロワ以外のブロワを停止させたとき2個のエアリフトポンプだけに送気されることを確認してください。
- ◆配管に空気漏れがなく、各バルブ操作を行い正常な作動かどうか確認してください。

4-2. 循環水移送量の設定

ばっ気槽上部にある計量装置（循環水用）に貼り付けてある表を参考に、実使用人数にあわせて水量調整ゲート・調整バルブを設定して下さい。使用者がすぐに入居されず、実使用人数が不明の場合は、浄化槽の人槽にあわせて下さい（5人槽なら5人）。移送管出口で循環水移送状況を確認してください。

◆循環水移送量の調整方法

使用人数	調整ゲート	バルブ	目安水量(L/分)
~4	~4	60	1. 7~2. 2
5	5		2. 1~2. 8
6	6		2. 5~3. 3
7	7		2. 9~3. 9
8	8		3. 3~4. 4
9~10	9~10		3. 8~5. 6

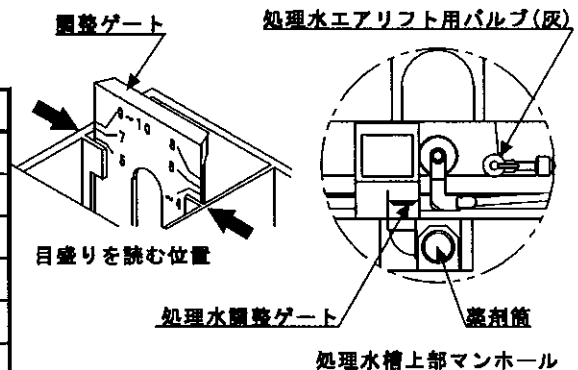


4-3. 処理水移送量の設定

処理水槽上部にある計量装置（処理水用）に貼り付けてある表を参考に、実使用人数にあわせて水量調整ゲート・調整バルブを調整して下さい。使用者がすぐに入居されず、実使用人数が不明の場合は、浄化槽の人槽にあわせて下さい（5人槽なら5人）。移送管出口での処理水移送状況を確認してください。
 ※ 水位がLWLしてすと移送が止まりますので、移送の確認はMWL~HWLの水位で行って下さい。

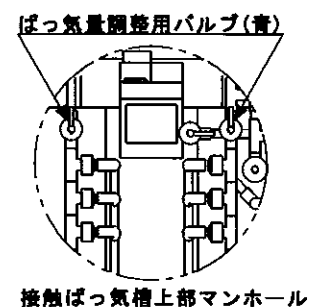
◆処理水移送量の調整方法

使用人数	調整ゲート	バルブ	目安水量(L/分)
~4	~4	60	0. 6~1. 1
5	5		0. 7~1. 4
6	6		0. 8~1. 7
7	7		1. 0~1. 9
8	8		1. 1~2. 2
9~10	9~10		1. 3~2. 8



4-4. ばっ気量の調整

ばっ気槽のばっ気量は左右2系列あるバルブによって調整することができます。2つの散気バルブを全開にしてから左右のばっ気のバランスを確認し、偏りがみられる場合はばっ気が強い方のバルブを絞って調整し、左右のばっ気を均等にして下さい。

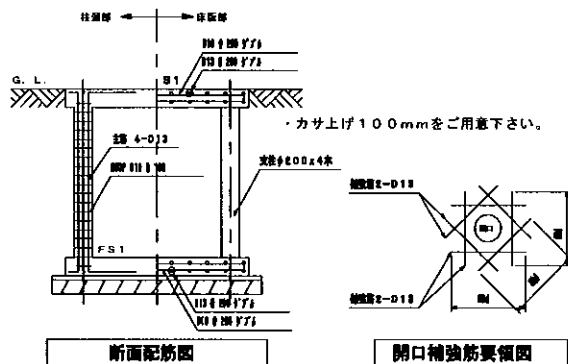
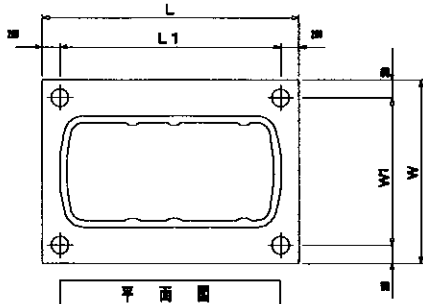


5. 特殊工事

5-1. 車が通る場所に設置する場合

乗用車（総重量2t以下）が通る場所に設置する場合は、次の要領で施工してください。

総重量が2tを越える車が通る場合は、弊社にお問い合わせください。



据付け図<乗用車(総重量2t以下)の場合>

記号	型 式		
	RS-5P	RS-7P	RS-10P
W	2030	2450	2670
L	2850	3040	3655
W1	1630	2050	2270
L1	2450	2640	3255

(単位mm)

■耐荷重用マンホールフタ品名

適 用	乗用車用() <プラスチック 又は鉄製製>	3 t 車用() <プラスチック又は 鉄製製(枠付)>
φ500用	φ500-500Kg	φ500-1500Kg
φ600用	φ600-500Kg	φ600-1500Kg

■配筋仕様<乗用車(総重量2t以下)の場合>

名 称	版 厚	型 式		
		RS-5P	RS-7P	RS-10P
スラブ	長手方向	D13@200ダブル		
		短手方向		
ベース コンクリート	200mm	D13@200ダブル		
		D10@200ダブル		
支柱φ200	主 筋	4-D13		
		HOOP		
		D10@100		

■マンホールの施工方法

乗用車(総重量2t以下)の場合

- ・マンホールフタは、別売の耐荷重(乗用車用)マンホールフタに交換してください。
- ・マンホール枠は浄化槽本体に付いているものがそのまま使用できます。
- ・別売の高上げ枠は、型枠として使用できます。

3 t 車(総重量6t以下)の場合

- ・マンホールフタ及び枠は、別売の耐荷重(3t車用)マンホールフタ(枠付、鋳物製)に交換してください。
- ・別売の高上げ枠は、型枠として使用できます。

5-2. 深埋めの場合

深埋めになる場合は、次の要領で施工してください。

- 300mmを越える嵩上げは、絶対にしないでください。
300mmを越えると、大きな土圧が浄化槽本体にかかり、槽が変形したり破損のおそれがあります。
- また、保守点検時の操作・作業が十分に行えず、放流水質が悪化する原因になります。

1) 深埋めが300mm以下の場合

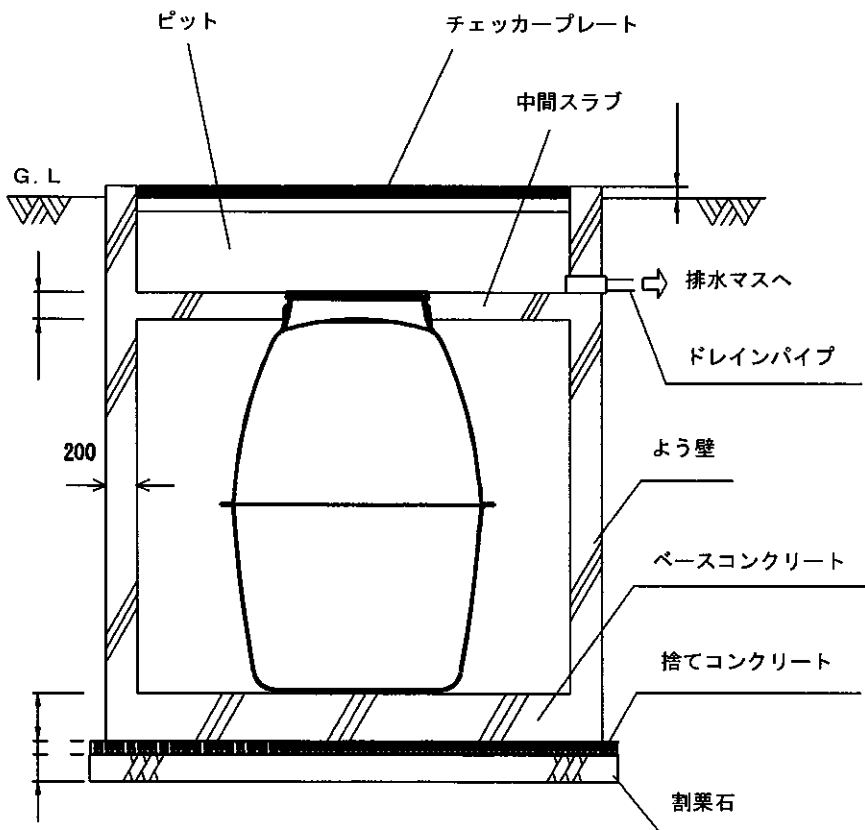
- ◆別売の嵩上げ枠を使用して、嵩上げを行ってください。(300mm以下を遵守のこと)

2) 深埋めが300mmを越える場合

- ◆原水ポンプ槽を設置して、深埋めを300mm以下にしてください。
- ◆原水ポンプ槽が設置できない場合は、ピット工事を行ってください。
- ◆ピット工事は次の例を参考にしてください。

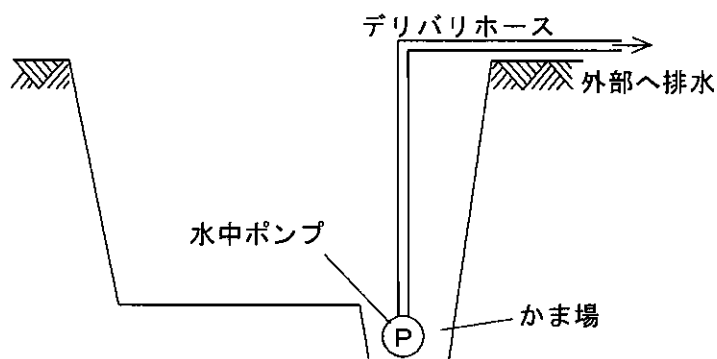
■ピット工事の施工例

下図は施工例です。よう壁にかかる土圧、上部からの荷重などを十分に検討してよう壁の仕様を決めてください。



- 土圧から浄化槽を保護するために、浄化槽の周囲によう壁を設けてください。
- ピット内には水抜き用のドレインパイプを設けてください。
- 上部荷重は支柱工事などによって、基礎で受けてください。

5-3. 湧水がある場合



- 地下水の多い場所や軟弱な地盤の場合の掘削は、必ず法面崩壊防止のため適切な施工をしてください。
- 湧水がある場合には右図のようにかま場を作り、ポンプで排水しながら作業を行ってください。
- 槽の浮上や槽本体の破損を防止するため、浮上防止工事を行ってください。

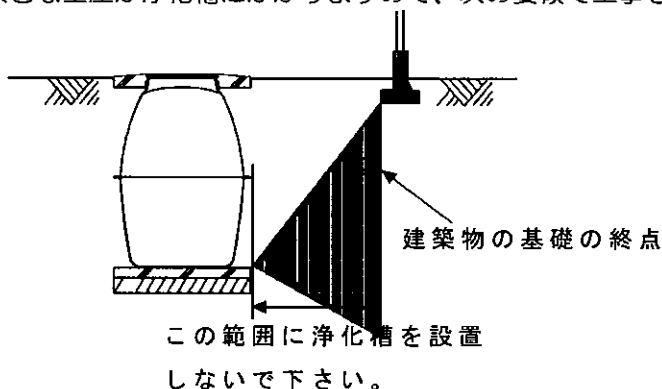
※地下水が設置した浄化槽の中央部より上にあるときは、地下水位まで槽の周りをコンクリートで補強してください。

5-4. 建築物や道路のそば、がけ下など浄化槽に荷重がかかる場合

建築物、道路のそば及びがけ下などは、非常に大きな土圧が浄化槽にかかりますので、次の要領で工事を行ってください。

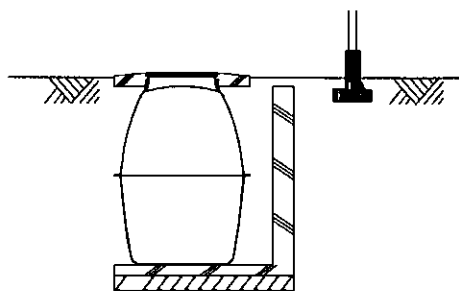
1) 設置場所が広くとれる場合

- ◆設置場所が広くとれる場合は、浄化槽を建築物等から離して設置してください。



2) 設置場所が狭い場合

- ◆設置場所が狭く、浄化槽を建築物等から離して設置できない場合は、よう壁を設けてください。

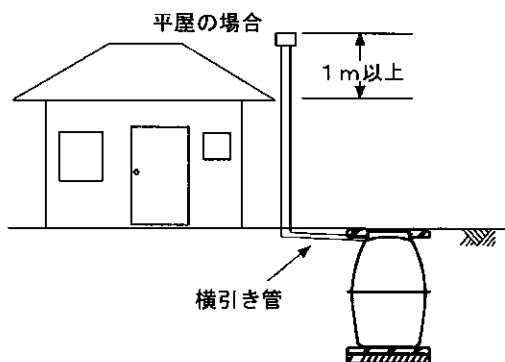


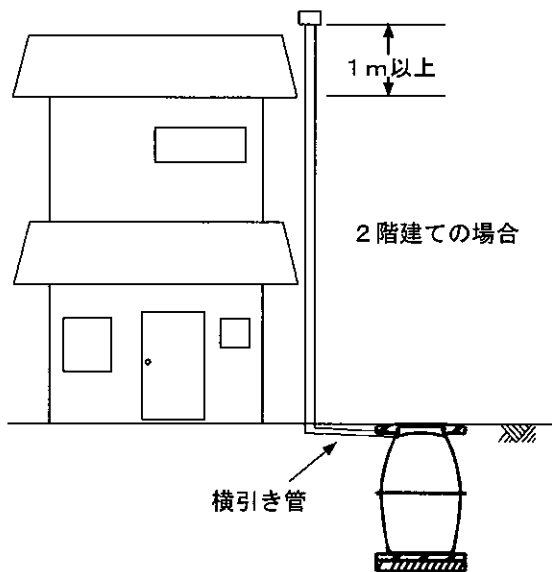
- ◆よう壁の仕様は、よう壁にかかる荷重の大きさや荷重の方向によって異なりますので、構造計算を十分行って施工してください。

5-5. 臭突配管工事

臭突配管工事は、次の要領で行ってください。

- ◆臭突管の立ち上げ位置は、近所の建物の窓の位置を配慮して決めてください。
- ◆横引き管はできるだけ短くし、浄化槽に向かって下り勾配になるようにしてください。





- ◆立ち上げ高さは、建物の軒下より1m以上にして下さい。
- ◆立ち上げ管は、風などで倒れないようにサポートを取り付けて下さい。
- ◆臭突ファンは、換気風量がプロワ風量の10倍以上あるものを使用して下さい。

●臭突管の接続方法

浄化槽には、臭突口を左右2カ所設けてあります。臭突管を接続する側にある臭突口のキャップを取り外して下さい。

5-6. 屋内に設置する場合

臭気などの関係から、屋内設置はおすすめできませんが、やむをえず屋内に設置する場合は、次のことに注意して下さい。

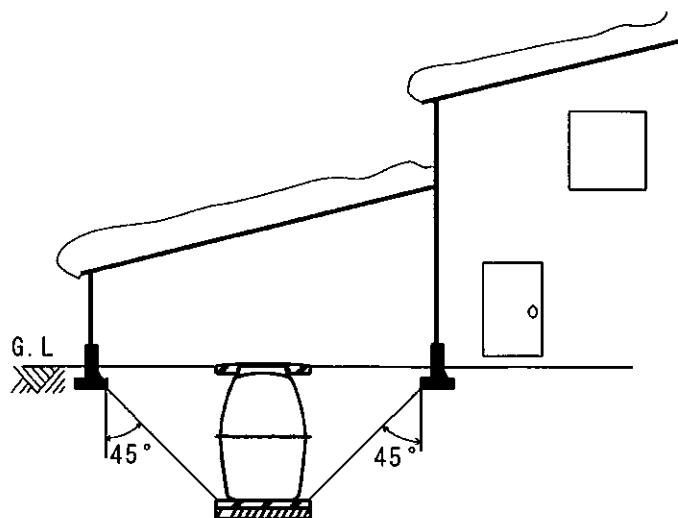
- ◆嫌気濾床槽では炭酸ガスや硫化水素等が発生し、担体流動生物濾過槽では酸素を消費しますので、必ず換気設備を設けて下さい。また、臭気にも十分配慮して下さい。
換気設備の位置および仕様は、周囲の状況や必要な換気能力を十分に検討して決定して下さい。
- ◆プロワ、ポンプなどの騒音や振動に対して十分な対策を行ってください。
- ◆浄化槽の周囲は、維持管理が充分に行える場所を設けて下さい。
- ◆浄化槽本体には、建物の荷重がかかることが多いので、事前に荷重の検討を充分行って下さい。

5-7. 寒冷地に設置する場合

特に積雪が少なく、寒さが厳しい場所に設置する場合は、建物から浄化槽までの配管の凍結を防止するために、配管が凍結深度以下になるよう埋設しなくてはなりません。

5-8. 積雪地帯に設置する場合

- ◆積雪が1mを越える場合は、浄化槽の上部に屋根囲い等を設けて、積雪による荷重が浄化槽にかからないようにして下さい。
- ◆地面や建物上部の積雪荷重が浄化槽の側面にかかる場合は、十分な対策を行ってください。
- ◆配管は凍結深度以下になるようにして下さい。



6. アフターサービスについて

6-1. 保証期間と保証の範囲

1) 保証期間

- (1) 槽本体：使用開始日より5カ年
- (2) プロフ：使用開始日より1カ年

2) 保証の範囲

浄化槽法に基づく浄化槽工事業者によって適正に設置され、竣工検査を完了したものが、製造上の責任に依って構造・機能に支障があると認められるときは無償にて修理します。

なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

また、次の場合は保証期間中であっても有償と致します。

- (1) 消耗部品（消毒剤、プロフのピストン、弁など）
- (2) 適切な維持管理契約がなされていない時
- (3) 適切な工事がなされていない時
- (4) 改造や不適切な修理による故障または損傷
- (5) 駆動部の取付場所の移動等による故障または損傷
- (6) 重車両の通行・振動による故障または破損
- (7) 火災、地震、水害、落雷、雪害その他の天災地変による故障または損傷
- (8) その他取扱いが不適當であった場合

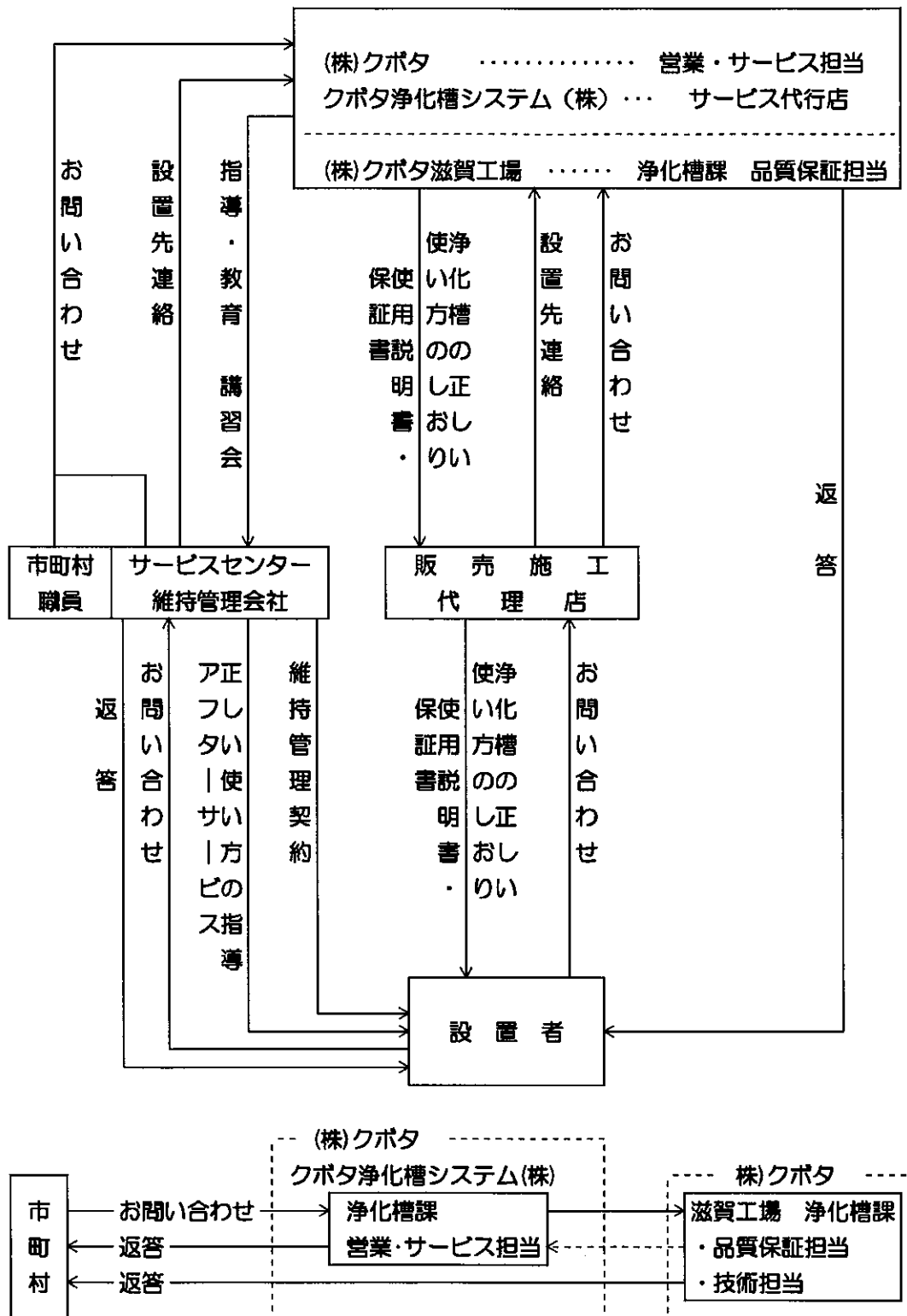
※プロフのフィルターエレメントや、ピストンなどは消耗品になります。

3) 保証期間後のサービス

保証期間後の故障で、弊社の責任と認められた場合は無償で修理します。他の場合は有償とします。

6-2. サービス体制

・ アフターサービス体制



RS-P型の工事が完了しましたら、このチェックリストで工事の適正を確認してください。確認後はこのチェックリストを保証書・取扱説明書・維持管理要領書と一緒にお客様にお渡しください。

浄化槽法では、浄化槽工事業者が浄化槽工事を行うときは、浄化槽設備士に実地に監督させ、またはその資格を有する浄化槽工事業者が自ら実地に監督しなければならないと定められています（ただし、浄化槽設備士または浄化槽設備士の資格を有する浄化槽工事業者が自ら浄化槽工事を行う場合には、他の浄化槽設備士に監督させる必要はありません）。

クボタ浄化槽 RS-P型 施工チェックリスト

設置者：		設置場所：		浄化槽型式：	
検査項目		チェック内容		異常の有無	備考
1	流入、放流管路の勾配	汚物や汚水の停滞の有無		有・無	
2	放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が不適切、逆流のおそれ		有・無	
3	管路の誤接合の有無	未接続の生活排水管の有無		有・無	
		雨水や工場排水の流入		有・無	
4	升の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点、及び一定間隔の升の設置もれ		有・無	
5	流入、放流管渠、及び空気配管の変形、破損	管の露出等により変形、破損のおそれはないか		有・無	
6	かさ上げの状況	バルブ操作などの維持管理上の支障はないか		有・無	
7	浄化槽本体上部、及びその周辺の状況	保守点検、清掃に支障はないか（場所、障害物）		有・無	
		コンクリートスラブが打たれており異常はないか		有・無	
8	槽本体の破損、変形	槽の破損、変形はないか		有・無	
9	漏水の有無	槽の漏水はないか		有・無	
10	槽本体の水平	槽の水平度に異状はないか		有・無	
11	集水パイプの固定状況	固定の状態の異常の有無		有・無	
12	ろ材・接触材の変形破損、固定状況	ろ材・接触材の変形、破損		有・無	
		ろ材の固定に異状はないか		有・無	
13	散気装置、循環水及び処理水移送装置の変形破損、固定、稼働状況	各装置の変形 破損の有無		有・無	
		固定の状態の異常の有無		有・無	
		片ばっ気の水流でないか	有・無	調整：未・済	
14	消毒設備の変形、破損 固定の状況	循環水移送水量の設定は適切か		有・無	調整：未・済
		処理水移送水量の設定は適切か		有・無	調整：未・済
		消毒設備の変形、破損		有・無	
15	ブロウの設置、稼働状況	消毒設備の固定に異常はないか		有・無	
		薬剤筒は傾いていないか		有・無	
		防振対策の異常の有無		有・無	
16	制御ボックスの設置状況（10人槽のみ）	ブロウの固定の異常		有・無	
		漏電のおそれ		有・無	
		制御ボックスの設置状況		有・無	
17	流入、放流ポンプの設置、稼働状況（原水ポンプ槽、又は放流ポンプ槽付）	ブロウが配線に以上はないか		有・無	
		ポンプ槽の変形、破損		有・無	
		ポンプ槽の漏水		有・無	
		ポンプ台数不良（適≥2台）		有・無	
		ポンプの能力不足		有・無	
		ポンプの固定不良		有・無	
取り外し可能か		有・無			
ポンプの位置や配管でレベルスイッチ稼働不良		有・無			

上記のとおり確認したことを証します。

平成 年 月 日

担当浄化槽設備士氏名：

印（設備士免状の交付番号）

★施工業者様へ

熟読して内容を理解してください

お問い合わせ、ご相談は最寄りの営業窓口へご連絡ください。

株式会社**クボタ** 浄化槽営業部

2003.9.1改訂